

中京テレビ杯 2022 年度春季第 79 回東海地区大学(女子)リーグ戦大会要項

- 主催 東海地区大学ソフトボール連盟
- 主管 愛知県ソフトボール協会・愛知県ソフトボール協会西三河支部・豊田市ソフトボール協会
- 後援 東海ソフトボール協会・中京テレビ放送㈱
- 協賛 ナガセケンコー㈱、ミズノ㈱、アメアスポーツジャパン㈱、㈱アシックス、プリンススポーツ㈱
- 日程 5月3日(火)、4日(水)、5日(木)、7日(土) 予備日:8日(日)
- 会場 I部 豊田市総合運動公園ソフトボール場 II部 同多目的グラウンド
- 参加資格 ①同一大学(短大を含む)の学生で編成したチームで、(公財)日本ソフトボール協会・全日本大学ソフトボール連盟及び東海地区大学ソフトボール連盟に登録されているチーム・監督・コーチ・選手であること。
②学長が身体、人物とも適当であると認めた者であること。
- 出場資格 チーム編成は、部長1名、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、登録選手とする。また、監督・コーチが選手を兼ねる場合は選手登録をすること。
※トレーナー1名、主務1名、通訳1名のベンチ入りを認める。
※スコアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること(胸にワッペンを着用すること)
※チームの中に次の①、②、③、④いずれかの資格を有する者がいること。
①ソフトボールコーチ1~4、②準指導員資格、③スタートコーチ(学生が監督・コーチとして登録する場合のみ認める)、④その他東海学連が指導者資格として認めたもの
- 競技方法 I部:6チームによる総当たりのリーグ戦方式
II部:5チームによる総当たりのリーグ戦方式
- 試合規則 ①2022 年度オフィシャルルールに準じ実施する。
②I部リーグ戦は7回終了後、2時間を超えて新しいイニングには入らない。また6回以前で試合時間が2時間 30 分を経過した場合、新しいイニングには入らず、裏の第3アウトまで実施して終了する。II部リーグ戦は2時間を超えて新しいイニングに入らない。ただし、6回以前でゲームが決していない場合は、コールドゲームが成立した場合を除き裏の第3アウトまで実施して終了する。
③入れ替え戦において2時間を超えて同点の場合は、8回以前でも次の回からタイブレイクを実施する。
④サスペンデッドゲームは無効試合の場合のみ採用する。
⑤特別な事項は監督会議(Web 会議)で定める。
- 順位決定 リーグ戦は、当該チーム間と全試合の順で次の各基準による。
①勝ち数の多い方が上位 ②負け数の少ない方が上位 ③失点率の小さい方が上位 ④総失点数の少ない方が上位
⑤得失点差の大きい方が上位 ⑥総得点の多い方が上位 ⑦対戦相手に勝った方が上位 ⑧決しない場合必要に応じて抽選
※点差コールドゲームの勝者は7イニングを守護したものとす。
※タイブレイクを除く場合と含む場合の順で計算する。
- 表彰 ①I部優勝・準優勝チームには賞状と中京テレビ杯・楯(持ち回り)を授与する。
②II部優勝・準優勝チームには賞状とトロフィーを授与する。
③中京テレビ最優秀選手賞(I部優勝チーム)・中京テレビ優秀選手賞(II部優勝チーム)・アメアスポーツジャパン首位打者賞(I部)・アメアスポーツジャパン打点賞(I部)・アメアスポーツジャパン本塁打賞(I部)・アシックス盗塁賞(I部)・ミズノ最優秀防御率賞(I部)・II部首位打者賞・II部優秀防御率賞に賞状と商品、プリンススポーツベストテン(I部)とプリンススポーツベストプレイヤー賞(II部各チーム1名)にTシャツを授与する。また、I・II部を通してベストマネジメント賞・ベストマーケティング賞・ベストスコアラー賞各1名を表彰する。
- 試合球 ミズノ社製公認革ボールとし、主催者が提供する。
- ベンチ入り ベンチ入りできる選手は、登録選手のうち試合ごとに25名以内に限る。
- 審判 (公財)日本ソフトボール協会公認審判員
- 記録 愛知県ソフトボール協会公式記録員・東海地区大学ソフトボール連盟公式記録員
- 監督会議 Web 会議(ZOOM)で行う。
- 参加料 30,000円
- 荒天時 決行延期の決定は午前6時、内容については東海学連の公式 Instagram 及び Facebook で確認すること。
- 代表選考 リーグ戦優勝チームは、全日本大学選手権大会へ出場できる。
入替戦の結果を含む上位8チームは東海地域選手権大会(インカレ最終予選)へ出場できる。
入替戦の結果を含む上位9チームは西日本大学選手権大会へ出場できる。
- 感染防止 「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策、対応、対処ガイドライン」の最新版を遵守する。詳細については、後日メールか監督会議時に周知する。
- その他 ①「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策、対応、対処ガイドライン」及び「(同名)マニュアル」に沿って各チーム対応のこと。
②試合前後のミーティングなどではできる限り避ける。試合終了後は集合等せずに各自車両等に乗り込み、ミーティングを催す際は Web 上の方法などを用いることを推奨する。
③各参加チームは当該チームの試合後に「新型コロナウイルス感染症対策消毒・洗浄マニュアル」に沿って施設や道具の消毒・洗浄を行うこと。
④当番の試合は、記録員とボール係を担当して試合を運営する。
⑤大会中の負傷・損害について主催者、主管協会は一切その責任を負わない。(損害賠償保険にも加入し、保険証を必ず持参すること。)
⑥ゴミ等はすべて持ち帰ること。また、試合会場は喫煙所以外禁煙である。その他の場所でも吸い殻は一切捨てないこと。
⑦観客については社会情勢、感染状況を鑑み、主管協会、管理主体と相談、決定し当連盟公式 SNS を通じて周知する。